

こどもの権利に関するアンケート調査

高校生相当の回答結果

令和8年3月

和光市子ども家庭支援課



1 調査概要

「（仮称）和光市こどもの権利条例」の令和9年12月制定、令和10年4月施行に向けて、子どもたちの「こどもの権利」に関する意識の把握や、その周知・理解の促進を目的として調査を実施した。

2 アンケート調査の対象と方法

項目	高校生相当アンケート
調査対象	和光市在住又は在学、又は在勤の高校生相当の年代の人
調査方法	Webアンケート形式
調査の時期	令和7年12月～令和8年1月
調査地域	和光市内
回答数	879人

3 調査種別

- 小学校1年生～3年生
- 小学校4年生～6年生
- 中学生（1年生～3年生）
- 高校生相当（1年生～3年生相当の年代）



▲
子ども向けアンケート結果ページはこちら
（市ホームページ）



▲
アンケート結果ページはこちら
（市ホームページ）

4 この資料に表示されている数字等の考え方について

- 小数点以下 2 位を四捨五入しているため、それぞれを足し合わせても合計が 100.0%にならないことがあります。
- アンケートの各質問に答える人の人数は、“質問の対象者数 (n) = ○○○”として掲載しています。また、グラフの%は質問に答える人のうち何%の人が答えているかを示しています。



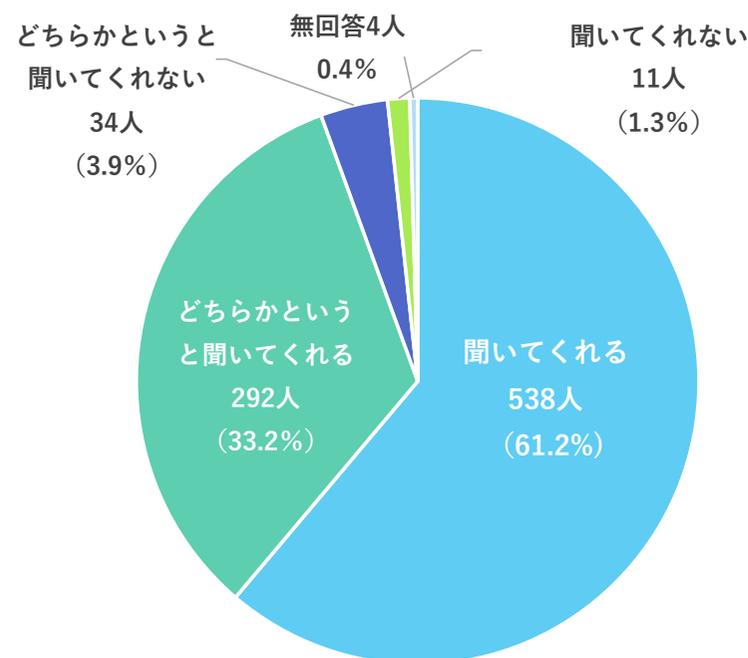
周りのおとなは、あなたの気持ちや意見を聞いてくれるか

意見や気持ちを「聞いてくれる」、「どちらかと言えば聞いてくれる」と回答した人の割合の合計は、94.4%となっているね。

でも、20人に1人が、「どちらかと言えば聞いてくれない」「聞いてくれない」と感じているんだね。



問1 あなたの周りのおとなは、あなたの気持ちや意見を聞いてくれますか。

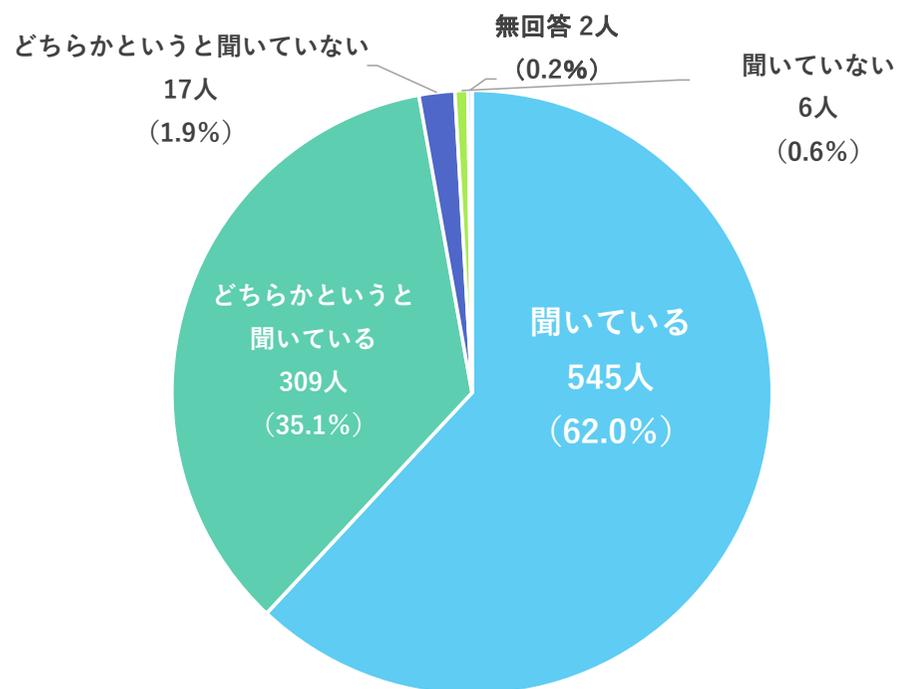


質問の対象者=879人



あなたは、周りの人の気持ちや意見を聞いているか

問2 あなたは、あなたの周りの人の気持ちや意見を聞いていますか。



質問の対象者 = 879人

意見や気持ちを「聞いている」、「どちらかと言えば聞いている」と回答した人の割合の合計は97.1%となっているよ。

「どちらかと言えば聞いていない」「聞いていない」は、2.5%となっているよ。





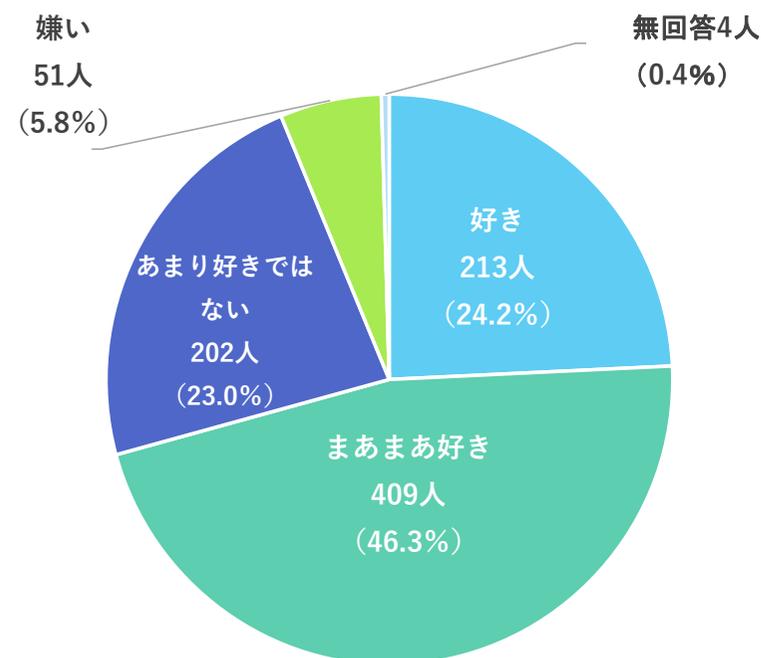
あなたは自分のことが好きか

自分が「好き」、「まあまあ好き」と回答した人の割合の合計は、71.0%となっているね。

「あまり好きではない」が23.1%、「嫌い」と回答した人は5.8%いるんだね。



問3 あなたは、自分のことが好きですか。



質問の対象者 = 879人



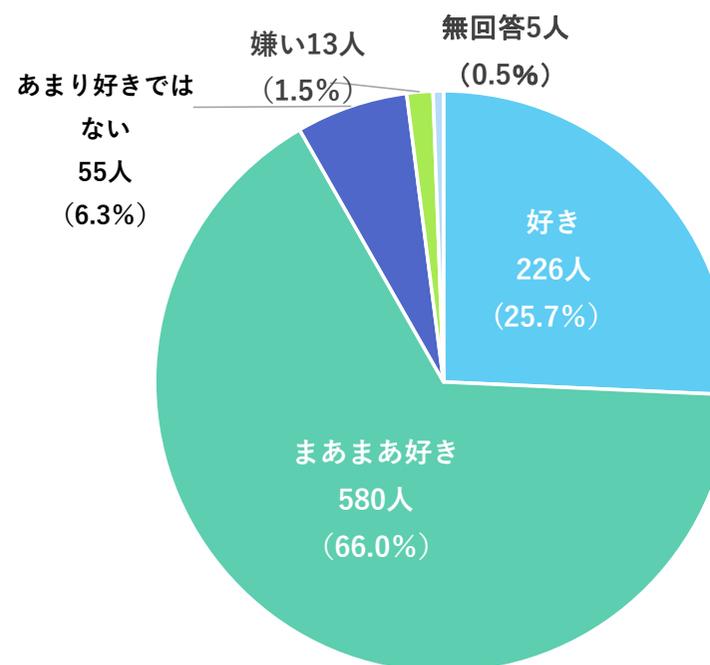
あなたは和光市が好きか

和光市が「好き」「まあまあ好き」と回答した人の割合が91.7%だね。

もっとみなさんにとって誇れるまちになるように、こども・若者の声をきちんと聴いて政策にいかしてほしいね。



問4 あなたは和光市が好きですか。



質問の対象者=879人



あなたは「こどもの権利」について知っているか

こどもの権利を「学んだことがある」「言葉は聞いたことがある」と回答した人の合計が90%を超えているね。

こどもの権利を、こどもも、おとなも理解することが必要だよね。



問5 あなたは、「こどもの権利」について、知っていますか。

学んだことがある
384人
(40.7%)

言葉は聞いたことがある
438人
(49.2%)

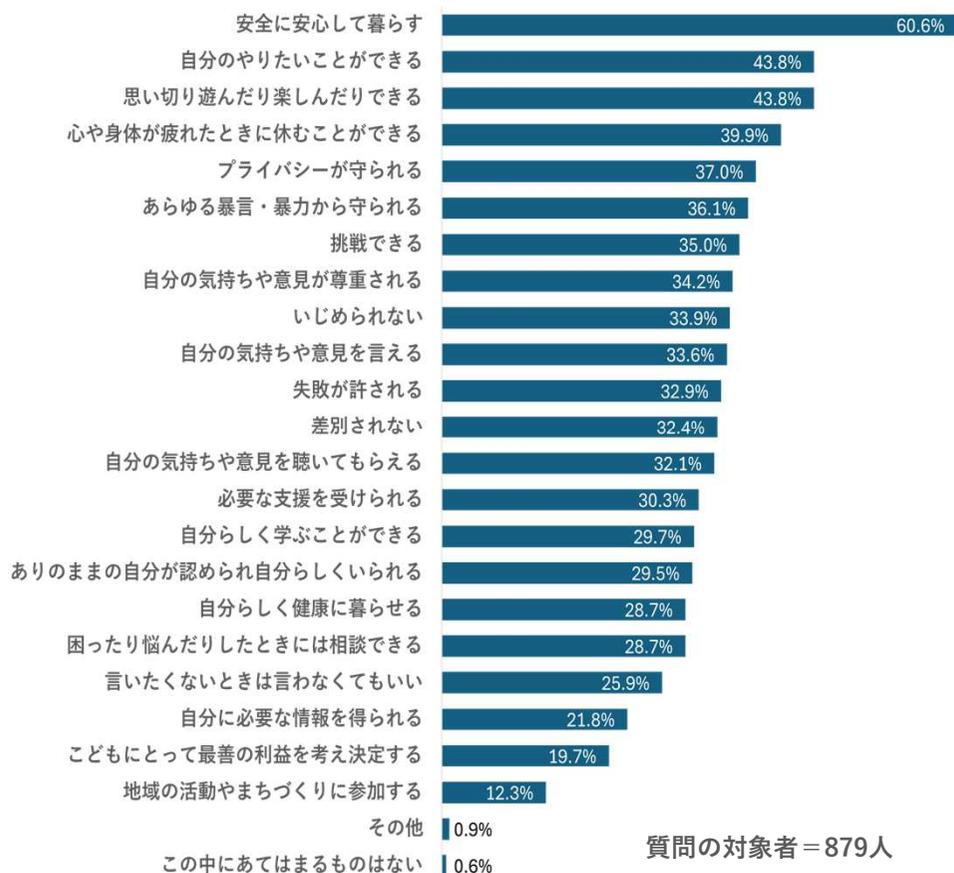
知らない
56人
(6.4%)

未回答
1人
(1.1%)

質問の対象者=879人



こどもの権利について、和光市で特に大切にしてほしいと思うもの



質問の対象者 = 879人

問6 こどもの権利について、和光市において、特に大切にしてほしいと思うものを全て教えてください。【複数回答】

「安全に安心して暮らす」を大切にしたいと回答している人が60.6%で一番多くなっているね。

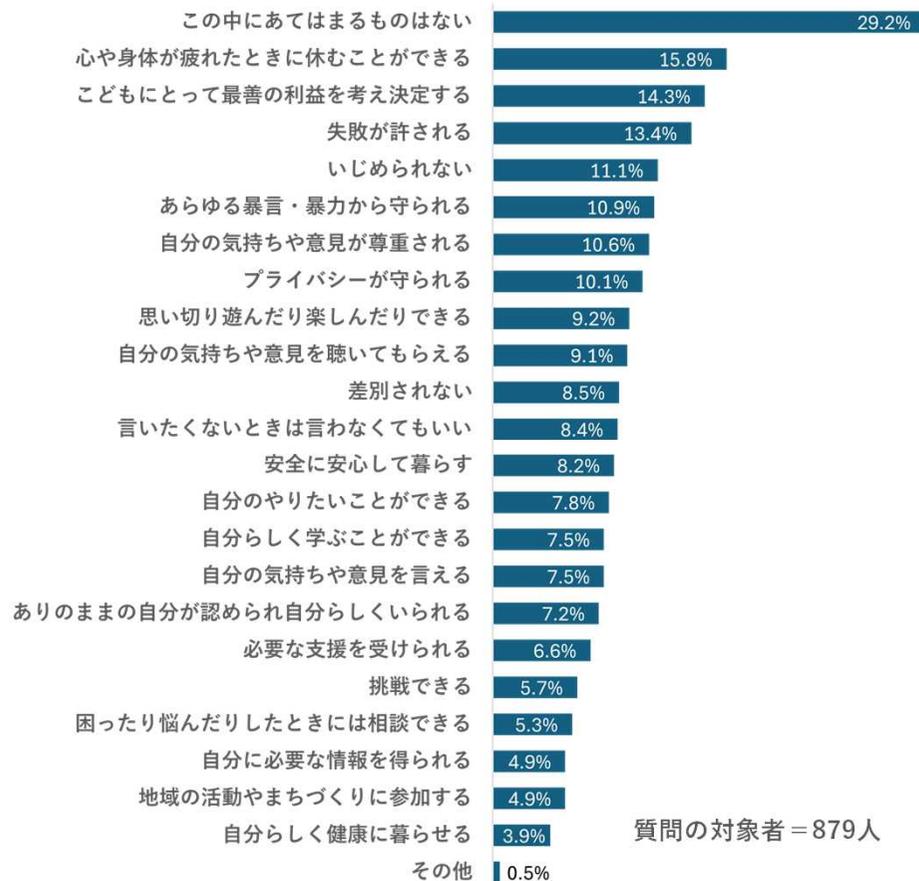
次に、「自分のやりたいことができる」「思い切り遊んだり楽しんだりできる」が4割以上に支持される一方で、「心や身体が疲れたときに休むことができる」も同じように望まれているね。





守られていないことがあると思うこどもの権利

問7 あなたやあなたの周りで、守られていないことがあると思うこどもの権利を全て教えてください。【複数回答】



質問の対象者 = 879人

「心や身体が疲れたときに休むことができる」15.8%、「こどもにとって最善の利益を考え決定する」14.3%、「失敗が許される」13.4%の人が、守られていないと回答しているね。





こどもの権利についての自由意見（抜粋①）

問8 こどもの権利について、思ったことや伝えたいことがあれば、自由にご記入ください。

こどもの権利 自由意見

- こどもにやさしい社会になってほしいです。
- こどもの権利条例の制定にあたって和光市がこどもがより健やかに育つことのできる環境になることを願っています。
- こどもの権利がこどもにではなく大人にどれだけ認知されて、どれだけ重要視されているのかが気になる。
- 公園でのボール遊びができなくなるなど時代の変化に伴って出来なくなってしまうことが増えている今の良さもあるが昔と比べ悪いと思う制度も増えたり縛りが厳しくなっているのが良くないと思う。
- 高校生でも遊べるような場所を作っていただきたい。
- 障がいを持っているこどもや医療ケアが必要なこどもたちが教育を受けることができるように支援を行う旨を検討していただきたいです。
- 匿名で学校や施設の要望を言うためのシステム作りそしてそれを反映する組織の形成。
- みんながありのまま、自分らしく居れて、「生きてて楽しい！」と心から思えるような人生を送れる世の中になったらいいなと思います。
- こども自身に自分の人生を決めさせるのはとてもいいことですが、難しいことはこども自身も一人だけで決めるのはとても大変でつらいときもあるので、そういうときも適度にサポートしてあげられたらいいと思います。
- 当たり前を守られていると考えていたので今まで深くこどもの権利について考えたことがありませんでした。考える必要があるとは思いましたが、いつか当たり前で考える必要もないくらいの社会になるように働きかけるべきだと考えました。
- もう少し休みが増えてほしいと思います。

たくさんの思いや考えを高校生から82件もらったよ。どれも大切な意見だよね。





こどもの権利についての自由意見（抜粋②）

問8 こどもの権利について、思ったことや伝えたいことがあれば、自由にご記入ください。

こどもの権利 自由意見

- ボール遊びできない公園が増えてあまり楽しく遊べなかった事が不満だったことを覚えています。また、公園周辺でもこどもの声に過敏に反応し、こどもの活動を制限するような大人に多いです。どうにかありませんか。
- こどもの権利を守ることは重要なことだと思います。だからこそ、自由や権利を履き違えないように、こどもを正しい方向へ導けるような環境づくりを目指してほしいと考えます。
- 自分は、挑戦して失敗して責められたりバカにしたりされることはないけれど、それでも実際に何かに挑戦しようとする人は周りにはあまりいないという印象があります。こどもが主体となって、挑戦したいという気持ちを否定せずこどもの意思で挑戦し、将来を拓いていく、そんな市になったら嬉しいと思います。
- 地域の活動やまちづくりについて、参加したいけど何をしているかあまり分からないということががあるので、具体的にどのようなことをしているのかを広められたらこどもも地域により参加しやすいのではないかと思います。
- 部活で自分を否定されることが多いです。自分らしさを大事にする決まりはともに入れてほしいです！
- 話を聞いてくれる大人が大半だが、そうではない大人もいる。
- 大人がこどものことに介入する範囲を狭めて欲しい。自分で決められることに対して大人の意見が正しいと自分の意志を諦めなければいけないことが多々あるため。
- 様々な問題が起きている中、把握しているものはごく一部だと思います、もっとこどもに寄り添って話を聞いて行って欲しいです。

全部の意見を市はしっかり受け止めるよ。
みんなの声を条例に反映させるよ！



こどもの権利とは

こどもが幸せに健やかに成長していくために必要なものです。
こどもは、おとなと同じように、一人の人間として権利を持っています。
そして、みんなは今成長の途中にいるので、こどもならではの権利もあります。
すべてのこどもたちの権利が守られるように努めるのは、おとなの役目です。

こどもの権利とは



▲
ここから動画が見れるよ！(YOUTUBEリンク)

相談窓口

何か困っていることはあるときは、一人で悩まず相談してください。秘密は守ります。

和光市総合こども家庭センター
電話 048-424-9124